

「未来に向かって～希望の轍～」 長万部高等学校長 土屋 靖雅

本校は教育の柱に、「キャリア教育の充実」を掲げ、生徒一人ひとりの「自己実現」に向けた教育を実践しているところです。今年も、3年生の進路活動が本格化し、それぞれの未来に向かい努力している姿に、成長とたくましさを感じています。地域の方々の優しさに包まれ、育てていただいた高校生活も残りが少なくなってきました。地域の未来を「創造」する人材になることを楽しみにしています。そして、3年生の姿は2年生や1年生に受け継がれ、歴史は続いていきます。多くの先人が辿った長い道のりを、長万部の子どもたちが、未来へと「紡いで」行くことを切に望んでいます。

「キャリア教育」は、「一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てること」と定義されています。「キャリア」の語源は、荷馬車などの通り道や跡、轍を意味しています。

子どもは、やがて大人になります。その生涯をより良く生きるための「力」を身に付けることができる学校であり続けたいと考えています。

今という時間は過去になります。過去という「道」があるからこそ、未来への「希望」に繋がります。

一人ひとりが、自分の人生において「青春」と呼べる貴重な時間を過ごした「足跡（轍）」の証として、本校の歴史が続くことを願っています。